大学用チェックリスト（受審要項 2巡目 Ver.1.2準拠）

**※チェックリストのWordファイルはWebサイトに公開しています。適宜編集の上、**

**準備の際にご活用ください（☐をクリックすると☒とチェックが入ります）。**

**自大学の評価は、**

**医学教育分野別評価基準日本版 Ver.　　　　　に基づいて行われる。**

**【自己点検評価書】**

　フォーマットは、自大学が受審する年度のバージョンを使用して作成した。

　認定後、一般に公開するものとして作成した。

　略語・用語一覧には、大学独自のものを記載した（一般的な用語は含めない）。

　略語・用語一覧には、略語、正式名称、日本語訳を記載した。  
（記載例：EC: elective clerkship･･･外部臨床実習などの選択実習期間のこと）

　すべての項目・水準（基本的水準/質的向上のための水準）に関して、以下のA-C   
すべての項目を適切に記載した。

|  |
| --- |
| A.基本的水準/質的向上のための水準に関する情報 |
| B.基本的水準/質的向上のための水準に関する現状分析と自己評価 |
| C.自己評価への対応 ①今後2年以内での対応  　　　　　　　　　 ②中長期的行動計画 |

　根拠資料のうち、頻繁に参照する図表や資料を本文中に挿入した。

**【根拠資料】**

　通し番号で資料番号をつけた。

　根拠資料一覧を作成した。

　インデックス等は、剥がれないようにつけた。

　電子媒体で提出する根拠資料は、本文の単語検索が可能なPDFファイルにした。

**【資料等発送準備】**

　自己点検評価書は、汚れや折れ、乱丁等がない。

　書面調査用チェックリスト（様式2-3）の【送付内容一覧】で内容物の確認ができる。

　配送中に中身が崩れないような梱包資材を使用した。

**【実地調査スケジュール作成】**

　様式2-5「実地調査スケジュール（案）」を使用して作成した。

　使用する会議室や教室を明記した。  
（開会式、全体説明： ）  
（領域別検討会議： ）  
（学生面談（3部屋）： ）  
（研修医・教員面談（3部屋）： ）  
（講評・閉会式： ）  
（評価員会議（評価チーム控室）： ）

　1日目は16時30分、2日目は17時、3日目は16時30分をスケジュール終了の目途として設定した。

領域別検討会議

　**領域1から9の順番で設定した。**

　領域1：40分程度で確保した。

　領域2：2時間程度で確保した。

　領域3：1時間30分程度で確保した。

　領域4：1時間程度で確保した。

　領域5：40分程度で確保した。

　領域6：1時間程度で確保した。

　領域7：1時間30分程度で確保した。

　領域8,9：まとめて1時間程度で確保した。

面談

　学生面談は、1時間を確保した。

　学生面談では、1～6年生各学年数名ずつを選定した（各グループに男女を含める。地域枠、研究枠等の特別枠入学がある場合には、いずれかのグループにその学生を含める）。

　研修医・教員面談は、40分を確保した。

　研修医・教員面談の研修医については、1年目と2年目として1～2名ずつ選定した。

　研修医・教員面談の教養科目と臨床科目については、入職後10年くらいまでの若手教員を選定した。

　研修医・教員面談の教養科目については、教養科目を担当している教員や、医学部の教養教育の概要を理解している教員を1～3名選定した。

見学

　移動時間も含めてスケジュールを組んだ。

　講義見学は、複数の講義を20分程度で見学できるよう設定した。

　臨床実習見学は、見学時間が30分程度で設定した。

　臨床実習見学は、見学先を3か所程度、設定した（内科系病棟と外科系病棟、外来で、病棟実習と外来実習を含む）。

　臨床実習見学では、診療参加型臨床実習を行っている現場の確認や実習中の学生へのインタビューができるよう、診療科の教員やスタッフに伝えた。

　必要のある患者、関係者から同意を得た。

　研究室配属見学は、30分程度で見学できるよう設定した。

　研究室配属見学では、研究室に配属されている（されていた）学生から話が聞けるよう、設定した。

　施設見学は、初日に設定した。

　施設見学は、複数の施設をそれぞれ10分程度で見学できるよう設定した。  
見学先（必須）：　　スキルスラボ、学生自習室、ラーニングコモンズ

**【大学内の各種会場準備】**

評価チーム控室

　インターネット接続が可能である。

　インターネット接続に必要な手続きをJACME事務局へ連絡した。

　席は対面形式またはコの字形式で設置した。

　手荷物を置くスペースが十分にある（初日および最終日、評価チームはキャリーケースを持参する）。

　机は、資料を置いたままの状態でも、パソコンを広げての作業や食事ができる広さがある。

　事務員用の机や作業用の机が余分にある（飲料の設置用机、昼食配膳の作業用机、等）。

　空調等の調節ができる。

　工事や部活動等の騒音が届かないようにした（学内への周知や手配等）。

【準備する物品】

　レーザープリンター、レーザープリンターと接続されているPC、印刷用紙（印刷をする環境）

　プロジェクター、スクリーン（資料を投影する環境）

　根拠資料、根拠資料一覧表（4セット）

　差替の根拠資料（4セット）

　質問事項に対する回答（4セット）

　提出が可能な追加資料（4セット）

　延長コード（複数本）

　文房具類（ホチキス、ハサミ、クリップ、ガムテープ、等）

　着払い伝票（評価チームの荷物発送用）

　段ボール箱（評価チームの荷物発送用、120～140サイズ）

　マチ付封筒（評価チームの荷物発送用）  
※着払い伝票、段ボール箱、マチ付封筒は、状況により使用する場合がある。

　ポット（1台）

　ペットボトル飲料（250～350ml）72本（24本入り3箱）

　ペットボトル飲料3箱のうち、1箱を領域別検討会議室 事務局席付近、2箱を評価チーム控室に搬入した。

　お弁当（2日目～4日目　昼食）（9名分×3日間）  
※原則、控室にてとれるように準備。学食、学内レストランでの食事は要相談。

　台布巾（1～2枚）

領域別検討会議を行う会議室

　インターネット接続が可能である。

　インターネット接続に必要な手続きをJACME事務局へ連絡した。

　席は対面形式で設置した。

　記録用マイクを置く机を設置した。

　空調等の調節ができる。

　工事や部活動等の騒音が届かないようにした（学内への周知や手配等）。

　発言はマイクをとおして行うよう、参加者へ周知した。

【準備する物品】

　根拠資料、根拠資料一覧表（評価チーム用、8セット）

　差替の根拠資料（評価チーム用、8セット）

　当日閲覧とした根拠資料（評価チーム用、8セット）

　質問事項に対する回答（評価チーム用、8セット）

　提出が可能な追加資料（評価チーム用、8セット）

　当日閲覧とした追加資料（評価チーム用、8セット）

　開始前の説明資料（ハンドアウト）（評価チーム用、10部）

　机上名札（大学側）

　マイク（3～4本）

　延長コード（複数本）

　プロジェクター、スクリーン（大学側からの冒頭説明で必要な場合）

面談室

　面談の会話が室外に漏れにくい部屋を確保した。

　座談会形式で机、椅子を設置した。

開会式、閉会式・講評の会場

　評価チーム発言用マイクを準備した（開会式、講評・閉会式3～4本）

　閉会式は、領域別検討会議、見学、面談に参加した教職員、研修医、学生のみならず、できるだけ多くの医学部関係者、学内教育関係者が参加できるよう、周知した。

**【宿泊施設の条件や準備等】**

　評価チーム全員が宿泊できる宿泊施設を確保した。  
　評価チーム人数分（同室不可）の禁煙室　3泊4日朝食付（チェックイン：月曜日または火曜日、チェックアウト：木曜日または金曜日）

　飲食可能な宿泊施設内会議室を確保した（3日間、同じ会議室を使用）。

　夕食（会議室にて、配膳は18：30ごろを予定）

　客室および会議室ではインターネット接続が可能である。

　会議室に持ち込んだ資料等を大学に返却する方法を手配した（着払いの宅配便または4日目に直接受取）。  
※3日目の会議室使用後、評価チームにて箱詰めし、宿泊施設に預ける。

　宿泊施設～大学間の交通手段（徒歩、タクシー、ジャンボタクシー、等）を確保  
した。

宿泊施設内会議室

【大学からの持ち込み物品】

　根拠資料、根拠資料一覧表（4セット）

　差替の根拠資料（8セット）

　質問事項に対する回答（8セット）

　提出が可能な追加資料（8セット）

　資料等運搬・返却用の箱

※各日の評価チームによる搬出入や使用後の大学返却時に使用。

【宿泊施設から借用予定の物品等】

　台車（2台程度）　※各日の評価チームによる搬出入時に使用。

　スクリーン

　延長コード